14　　田舎の　　　　　　　　　　　　　　　　　敬語の種類

ある時、都の鼠、片田舎に下り侍りける。田舎の鼠ども、これをいつきかしづくことア限りなし。これによつて、田舎の鼠をイ召し具して上洛す。しかもその住所は、都の有徳者の蔵にてなむありける故に食物足つて乏しきことなし。都の鼠申しけるは、「上方には、かくなむいみじきことのみおはすれば、ウいやしき田舎に住み給ひて、何にかはし給ふべき」など、語りなぐさむところに、家主、蔵に用の事ありて、にはかに戸を開く。

都の鼠はもとより、穴に逃げ入りぬ。田舎の鼠は無案内なれば、慌て騒げども隠れ所もエなく、からうじて命ばかり助かりける。その後、田舎の鼠、参会して、この由語るやう、「御辺は、『都にいみじきことのみある』とのたまへども、ただ今の気遣ひ、一夜白髪といひ伝ふるごとくなり。田舎にては、事オ足らぬこともカ侍れども、かかる気遣ひなし」となむ申しける。

【本文チェック】

①　ア～カの用言の、活用の種類（動詞は活用の行も）・文中での活用形を書きなさい。

　ア（　　　　　　　　活用　　　　形）

　イ（　　　　　　　　活用　　　　形）

　ウ（　　　　　　　　活用　　　　形）

　エ（　　　　　　　　活用　　　　形）

　オ（　　　　　　　　活用　　　　形）

　カ（　　　　　　　　活用　　　　形）

②都の鼠・田舎の鼠をすべて□で囲み、登場人物を確認しなさい。

③傍線部に適当な語句を入れ、現代語訳を完成させなさい。

　よく知っている者である（　　　　　　）

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　侍り〔１〕（　　　　　り）　　２　故〔３〕（　　　　　　）

３　上方〔４〕（　　　　　　）　　４　案内〔７〕（　　　　　　）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　おはす〔４〕　①（　　　　　　　　　　　　）（「あり」の尊敬語）

　　　　　　　　　②いらっしゃる・おいでになる（「行く・来」の尊敬語）

　　　　　　　　　③～（て）いらっしゃる

２　いやし〔４〕　①身分が低い

　　　　　　　　　②下品だ

　　　　　　　　　③（　　　　　　　　　　　　）

３　にはかなり〔６〕（　　　　　　　　　　　　）

４　のたまふ〔９〕　（　　　　　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　、心ことにもてかしづく。（紫式部日記）

　ア　ひざまづく　　　　　イ　大切にもてなす

　ウ　大切に世話をする　　エ　尊敬する

　（　　　）

２　説法いみじくして、皆人、涙をながしけり。（徒然草）

　ア　はなはだしい　　イ　すばらしい

　ウ　ひどい　　　　　エ　たのもしい

　（　　　）

３　名高くすぐれて賢き僧どもを召したり。（増鏡）

　ア　お呼びになる　　イ　お褒めになる

　ウ　お持ちになる　　エ　ご覧になる

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　⑴　次の説明にあてはまる敬語の種類を答えよ。

　　　①　動作の主語（する人）に敬意を表す　　　（　　　　　　　）

　　　②　動作の受け手（される人）に敬意を表す　（　　　　　　　）

　　　③　聞き手や読み手に敬意を表す　　　　　　（　　　　　　　）

　　　⑵　次の説明にあてはまる語を後から選べ。

　　　①　単語そのものが敬意を含んでいる動詞　　（　　　　）

　　　②　上の動詞に敬意をつけ加える動詞　　　　（　　　　）

　　　　ア　本動詞　　イ　補助動詞

問５　次の傍線部について、敬語の種類と本動詞・補助動詞のどちらであるかを答えよ。

１　帝、琴をあそばしける。（大鏡）

　　　敬語の種類（　　　　　　）・（　　　　　　）

２　にあひまゐらせん、いとうれしきことかな。（讃岐典侍日記）

　　　敬語の種類（　　　　　　）・（　　　　　　）

３　馬よりも落つべくひつれども、（保元物語）

　　　敬語の種類（　　　　　　）**・**（　　　　　　）

【探究】

問６　田舎の鼠は、便利で華やかだが危険なこともある都会よりも、不自由だが心穏やかに暮らせる田舎の暮らしがよいと判断した。あなたはこのような考えについてどう思うか。

ア　賛成である。　　イ　反対である。　　ウ　どちらでもない。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝ク・終止　イ＝サ行変格・連用　ウ＝シク・連体

　　エ＝ク・連用　オ＝ラ行四段・未然　カ＝ラ行変格・已然

②　都の鼠〔１・３・７〕　田舎の鼠〔１・２・７・８〕

③　ので

問１　１＝はべ　　　２＝ゆえ

　　　３＝かみがた　４＝あない

問２　１＝おありになる・いらっしゃる　２＝つまらない

　　　３＝突然だ　　　　　　　　　　　４＝おっしゃる

問３　１＝ウ　２＝イ　３＝ア

問４　⑴　①＝尊敬語　②＝謙譲語　③＝丁寧語

　　　⑵　①＝ア　　　②＝イ

問５　１＝尊敬語・本動詞　　２＝謙譲語・補助動詞

　　　３＝丁寧語・補助動詞

問６　（例）イ　確かに、心穏やかに暮らすことも大事だが、あえて自分のよく知らない環境に身を置くことで、より成長できると思うから。

　　観点　身の丈に合う暮らしのほうがいい、また、あまり過ぎた欲望を抱くとよくないなどと考えるなら「賛成」になるだろう。さまざまな考え方が可能である。

【現代語訳】

問３　１　殿上人が、格別ねんごろに大切に世話をする。

　　　２　説法がすばらしくて、一座の人はみな、涙を流した。

　　　３　高名で学問や才知にすぐれている僧たちをお呼びになった。

問５　１　帝は琴を弾きなさった。

　　　２　内侍殿にお会い申し上げるのは、たいそう嬉しいことだなあ。

　　　３　馬からも、（今にも）落ちそうでございましたけれども、